

5月11日の国内株式市場の下落について 米国でのテクノロジー株安が波及

2021年5月11日

半導体や電子部品関連などを中心に下げが加速

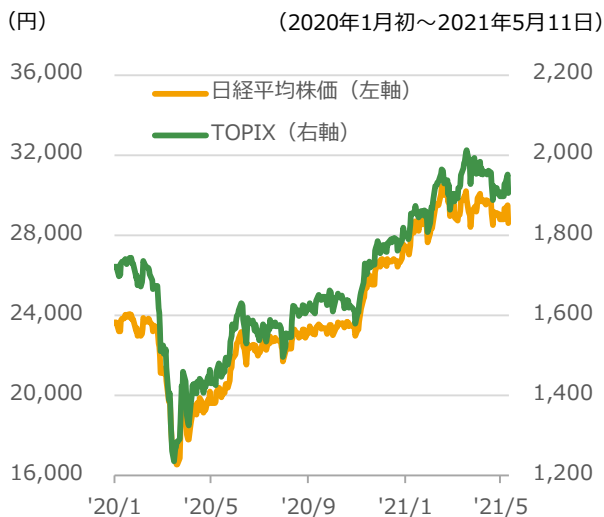
5月11日の国内株式市場は、日経平均株価が3.08%下落、TOPIXが2.37%下落するなど、大幅安となりました。取引開始直後から大きく下落し、その後も下げ幅を広げる展開でした。

株価が下落した要因としては、前日の米国株安が挙げられます。5月10日（現地）の米国株式市場は、NYダウでみると僅か0.10%の下落でしたが、S&P500指数は1.04%下落、ナスダック総合指数は2.55%下落しました。アップル、アマゾン、フェイスブック、テスラなど、主要テクノロジー株が比較的大きく下落し、指数を押し下げました。このところ米国株式市場では、景気回復の加速や、それを背景とするインフレ懸念の強まりなどを反映し、昨年来上昇していたテクノロジー株などの成長株から、景気敏感株へと資金のシフトがみられています。

本日の国内株式市場は、そのような米国株式市場の物色動向を受け、半導体や電子部品関連などの下落が目立ったほか、決算発表が低調な内容だった銘柄なども売られました。なお、欧米に比べて新型コロナウイルスワクチンの接種が遅れていることも、最近の日本株の上値の重さにつながっているとみられます。

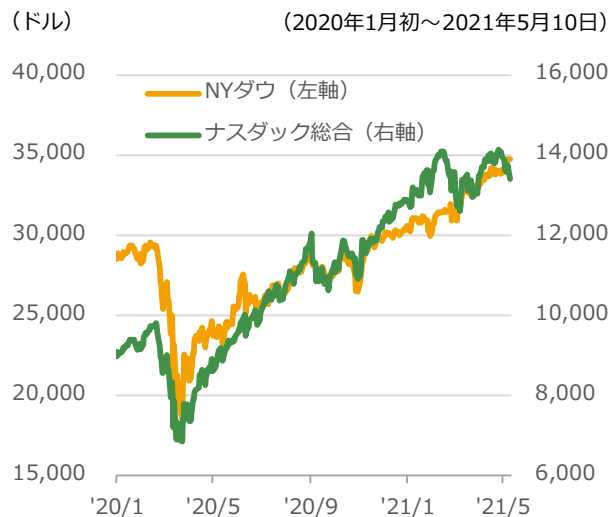
今後ですが、米国株式市場は依然、最高値圏にあることや、日本でもようやくワクチン接種の体制が整いつつあることなどから、本日の下落を以て先行きを過度に悲観する必要は低いと考えます。

国内株価指数の推移



(出所) ブルームバーグ

米国株価指数の推移



(出所) ブルームバーグ

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management